

【礼拝賛美】主はぶどうの木

(※↓★※の順で歌う)

※主はぶどうの木 わたしは枝です
いつも離れずに
主はぶどうの木 わたしは枝です
豊かな実を結び

★みことばにとどまり愛に生きるなら

この世は知るでしょう
主の救いと いやし

【茶話会 報告】

18日の午後新しい企画として茶話会を行いました。語らうテーマは、先の教会総会で説明した「礼拝回数の変更について」。24名の出席で、4つのテーブルに6名ずつに分かれて意見交換をしました。

最初に、司会の荻野真嗣兄が今回の企画の目的やグループトークの進め方を分かりやすく説明し、まずはテーブルごとに短く自己紹介から始まりました。名前と所属会に加えて、自宅から教会までの所要時間と好きな飲み物というお題に、これまで以上にお互いの距離感が近くなった気持ちでのちの時間に臨みました。

グループトークは二つの項目が与えられて、それぞれに10分ずつ語り、その後、各テーブルで話された内容が発表さ

れました。

一つ目は、礼拝回数の変更について聞いたときの最初の印象・思ったこと。

これについては、各テーブル共におおよそ同じ反応で、CS礼拝や奉仕者はどうなるのか？礼拝時間はどうなるのか？という疑問を抱いたということでした。

二つ目は、オンライン礼拝について感じていること。

これについては、様々な意見がありました。おもに高齢者への対応から今後も不可欠であろうということは共通の理解でしたが、どのように実施するかについては様々でした。シオン6教会が礼拝テキストを統一した上で配信は週替わりで担当してはどうかという意見があれば、蒲田の会員として蒲田の礼拝に触れたいからこれからも蒲田礼拝を毎週配信してほしいという意見もありました。

今回は、礼拝回数の変更について牧師・役員・各担当者で検討するにあたり、兄弟姉妹の意見を聞くことが目的でした。とても有意義な時で、参考にしながら引き続き検討して参ります。

また、茶話会で出た意見などについては、何らかの形で共有したいと思っています。

「父親は彼を見つけて、かわいそうに思い、駆け寄って彼の首を抱き、口づけをした。」(ルカ福音書 十五章二十節)

今朝のお話は有名なルカ福音書十五章の三つのたとえのお話です。特に十一節以下の父と息子の部分が中心です。

『父の心のたとえ』という題にしました。何と言ってもこのたとえのクライマックスは、冒頭のみことばです。私が教えられて来た一つのことばは、『神のお心の内を外側から知るのではなく、内側に入って神のお心を知ること』でした。

変わり果てて帰って来た息子を「見つけてかわいそうに思い、駆け寄って彼の首を抱き、口づけをした。」駆け寄る「父の姿に」極みまで愛される「神の愛に感動します。」

三つのたとえのいずれも、神の心のうちにあるのは、失われていた一人の人が、罪を悔い改めて神に立ち返ることへの喜びです。

主イエスのお話の発端は、イエスのお話を聞こうとする取税人、罪人との食事をされたことへの回答が三つのたとえです。

第一のたとえ。一人の価値です。迷い出た羊を羊飼いの囲いに連れ戻すことです。一人の失われた人を捜し出して救うための犠牲を惜しまない主イエス様の姿です。

第二のたとえ。失われた一枚の銀貨です。神にとつての価値です。神のお心の内には一人として価値のない人はいないので。

第三のたとえ。失われた息子の話です。「ある人に二人の息子がいた」とは、父なる神と一人の人は、人格的な交流を基礎として存在し結ばれているからです。息子が生きるすべては父に負うているように、人間が生きることは、神を起源とします。

弟息子は父から受け取るべき財産と持って遠くに生き散財してしまいました。父との離反は、神と人間との関係が切れたことですから、それを「罪」と言います。その時から人は霊的に死に、神と心を結ぶ霊性を失いました。私たち人間はあまりにも遠くに来たために神を忘れしました。神でない神を崇める者となりました。息子のように真の神のいない人生は「はかない楽しみ」におぼれ死に至ります。

「しかし、彼は我に返って言った『父のところに…』。彼が気づいたのは『父』であり、『父』に対する罪の自覚」でした。罪を悔いて父のもとに帰って行った時、彼を見つけて、かわいそうに思い駆け寄ったのが父でした。それは無条件の赦しでした。家に迎え入れ子として歓待したのです。「可哀そうに思い」は別訳の言語では「胎」を意味する言葉と言います。神と人との愛で結ばれた関係こそこのたとえの真意です。(英)

8月25日	聖日礼拝
第1礼拝 9時	中西け兄 荻野し兄
第2礼拝 11時	荻野と兄 高橋美姉
前奏	
招詞	マタイの福音書11章28節
会衆賛美	聖歌151 たえなる命の
会衆賛美	主はぶどうの木
主の祈り	
交読	詩篇32篇1〜7節 (旧約聖書 962頁)
礼拝祈禱	
使徒信条	
聖書朗読	ルカの福音書15章11〜24節 (新約聖書 149頁)
説教	父の心のたとえ 田中英師
会衆賛美	聖歌421 父なるみ神に
献金	
頌栄	聖歌376 父御子御霊の
祝祷	
報告	
感謝祈禱	奏楽

【招詞(主の招きのことば)】
マタイの福音書11章28節「すべて疲れ
た人、重荷を負っている人はわたしのも
とにきなさい。わたしがあなたがたを休
ませてあげます。」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 第2礼拝後

■小学科ホザナ礼拝 11時〜3階

■バイブルカフェ

12時15分〜45分 談話室

■ハレルヤコーラス練習

13時半〜 礼拝堂

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈禱 荻野牧師

聖書朗読 荻野牧師

献金1階

献金祈禱

報告 司会者

受付

配信 配信チーム

■第2礼拝

礼拝祈禱

聖書朗読

献金1階

2階

献金祈禱 司会者

報告 荻野牧師

会場

受付

パワポ パワポチーム

【来週の礼拝説教】 荻野牧師
イザヤ書46章1〜13節

【9月1日 創立記念日礼拝(聖餐)】

18日の週報に、シオンの創立は一説には8月の終わり頃だったとか…と書きましたが、もしやと思い調べたら書かれています。

創立四十周年記念誌「戦國教会」より。「恩寵四十年」との題で、創立者夫人 岸田初子牧師による回顧です。

「シオン・キリスト教会が産声をあげたのは昭和九年八月です。いつも思うのですが、主は無から有を生ぜしめ不可能を可能にかえるお力を豊かにおもちの方です。私はそれを見ました。教会出発当時の計算をいたしますと人数に於いては二人半です。主牧・私・私のお腹の中に五ヶ月の嚙。金銭的の計算は当時借用いたした家賃が敷金無しの前家賃として金拾八円也。支払った残りの額は五円なにかし。しかし大切な計算はプラス主です。全ての全てでおわず主様です。そして主が助け主としてお遣わし下さった御霊様です。もう一つ私共に与えられた使命「全ての人に福音を」コロサイ一ノ二八。そして、御霊の確実な計算の下に設計された摂理の道です。…」

10月6日には改めて創立90周年記念礼拝を行います。長年創立の記念として覚えて来た9月第一聖日である来週9月1日は、初代の牧師たちが聖霊の励ましを得て一步を踏み出したことに思いを向けながら、その主が今もここに共におられることを聖餐を囲むことを通して覚えたいと願っています。

【ご案内】

■9月8日(日)

*文書伝道デイ いのちのことは社を迎えて、文書伝道についての証しをしていただきます(礼拝の報告の時間)。あわせて、談話室で書籍などの販売を行います。お楽しみに!

*敬老の祝い 「敬老の日」は翌週16日(月休)ですが、霊修会もあるため8日に祈りの時を持ちます。

*ハレルヤコーラス練習 10月6日
創立記念礼拝に向けて練習です。

【報告 消息】

・小学科キャンプ お祈りを感謝します。次週、報告を掲載します。

・お盆の季節を越えて、朝晩は少し気温が下がるように感じます。夜には虫の音も聞こえるようになりました。季節は少しずつ移ろっています。とはいえ、日中はまだまだ非常に暑くて、9月も残暑の厳しさが予想されます。体調管理に気を付けましょう。